授業科目(ナンバリング)	文学論 (AB109)			担当教員	※山本みづほ・※中島恵美子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講座では、学びの地である長崎に視点を置き、「長崎の文学」を身近に感じることで文学そのものの本質をとらえ直したい。今回は長崎出身の作家の作品について、講義と演習により読解を深めたい。長崎出身の作家とその生き方を感じ取ることで、自分自身の内面の醸成を図ることをねらいとする。							① ⑥ ⑦ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	・「長崎の文学」の各作品と対峙することで、自分という存在の本質を探ることができる。				・授業への参加の姿勢	10%	
情報収集、分析力	・作品の背景や、作家の心情を知るための情報を自分なりに集め分析できる。				・情報収集の量と発表	20%	
コミュニケーション力	・グループワークやディスカッションにおいて、他者の意見を聞き感想を話すことができる。				・他者との考えのやり取り	10%	
協働・課題解決力	・作品ごとの感想や意見を自分のことばでまとめ、他者に伝えることができる。				・ミニレポート	10%	
多様性理解力	・長崎という土地が作者と作品にどのような影響を与えたかを、作品を通して考えることができる。				・前期小テスト ・期末小論文	50%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験（小論文）の成績を50%とする。評価ポイントは受講者の文学的視点が明確であるか、独自の見解を有しているか、文章構成や論述方法などを総合的に評価する。また、授業ごとのミニレポートは作品に対する理解度や設問内容への理解と解釈を中心に評価し、その都度フィードバックする。 ・授業への参加態度や課題等の提出やその対応については、授業内の参加レベルとして評価する。 							
授業の概要							
<p>授業はオムニバス形式で行われ、前半の8回を山本、後半の8回（試験を含む）を中島が担当する。授業は講義だけでなく、作品の持つ課題を設問を通して解決したり、講師や他者からの更なる質問を絡ませたりして思考を深めていく。そうすることで、これまでの既成の研究や評論、あるいは論文的な作品評価ではない、自分自身の作品のとらえ方、感じ方を養っていきたい。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「長崎の文学」、各文庫本 参考書：必要に応じて紹介する 指定図書：「長崎の文学」</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>従来の概論的な色合いを避け、「長崎の文学」に特化した授業であることを理解し、積極的に長崎という地域への理解を深めて欲しい。本県出身者でも「灯台下暗し」で郷土の文化や地域、あるいは置かれてきた歴史的な問題などに触れることは少ないといえる。自分自身の五感を駆使して長崎を体感する機会を持つてほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	イントロダクション	・「長崎の文学」を基点にした「文学論」についてその概要を学ぶ。(山本・中島)	「長崎の文学」について調べてくる。
2	さだまさし 『二番線ホーム』	・主人公の自己葛藤する姿から、人間の生き方を見る。(山本)	『二番線ホーム』(教科書 P190～P192)を読む。
3	さだまさし 『解夏』	・主人公の葛藤する姿から、人間の生き方を見る。(山本)	『解夏』(教科書 P96～P100)を読む。
4	吉田修一 『Water』	・青春期(高校時代)の光と影を読み取る。(山本)	『Water』(教科書 P89～95)を読む。
5	吉田修一 『横道世之介』	・青春期(大学時代)の上京した地方出身者の思いを読み取る。(山本)	プリント教材
6	吉田修一 『続横道世之介』『永遠と横道世之介』	・たまに帰省する故郷への思いを読み取る。(山本)	プリント教材
7	佐藤正午 『櫓』	・青春を振り返る大人の気持ちを読み取る。(山本)	『櫓』(教科書 P185～P186)を読む。
8	村上龍 『希望の国のエクソダス』	・青春期(中学時代)の社会に対する少年の思いを読み取る。(山本) *前半振り返りの小テスト	『希望の国のエクソダス』(教科書 P253～P258)を読む。
9	司馬遼太郎『竜馬がゆく』 ①	・直木賞作家・司馬遼太郎の長崎を舞台とする作品を知る。(中島)	司馬遼太郎と長崎の関係を知る。プリント教材
10	司馬遼太郎『竜馬がゆく』 ②	・『竜馬がゆく』を読み、司馬の作品と長崎の関係を知る。(中島)	『竜馬がゆく』を読む。教科書 p 14～19
11	万葉人の旅①	・対馬で詠まれた『万葉集』の歌を鑑賞する。(中島)	『万葉集』を読む。教科書 p 151 プリント教材
12	万葉人の旅②	・五島で詠まれた『万葉集』の歌を鑑賞する。(中島)	『万葉集』を読む。教科書 p 151 プリント教材
13	林京子『祭りの場』①	・長崎出身の芥川賞作家・林京子の生涯を知る。(中島)	林京子と長崎の関係を知る。プリント教材
14	林京子『祭りの場』②	・『祭りの場』を読み、原爆が長崎の文学の主題の一つであることを知る。(中島)	『祭りの場』を読む。教科書 p 115～120
15	日本文学における長崎の文学	・「長崎の文学」のもつ地域性と普遍性について考察する。(中島)	「長崎の文学」について考える。プリント教材
16	定期試験	・小論文	